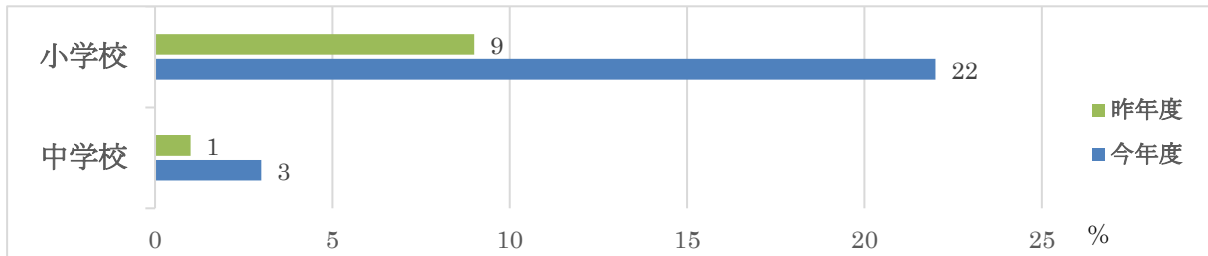


令和3年度 「第1回 いじめの把握のためのアンケート調査（5月末）」

～ 七飯町内各校の報告数の集約概要 ～

1 「4月から今日まで、嫌な思いをしたことがあるか。」（回答児童：1320名、回答生徒：643名）

「ある」 小学校・・・今年度 292件（22%） 昨年度 126件（9%）
 中学校・・・今年度 22件（3%） 昨年度 8件（1%）



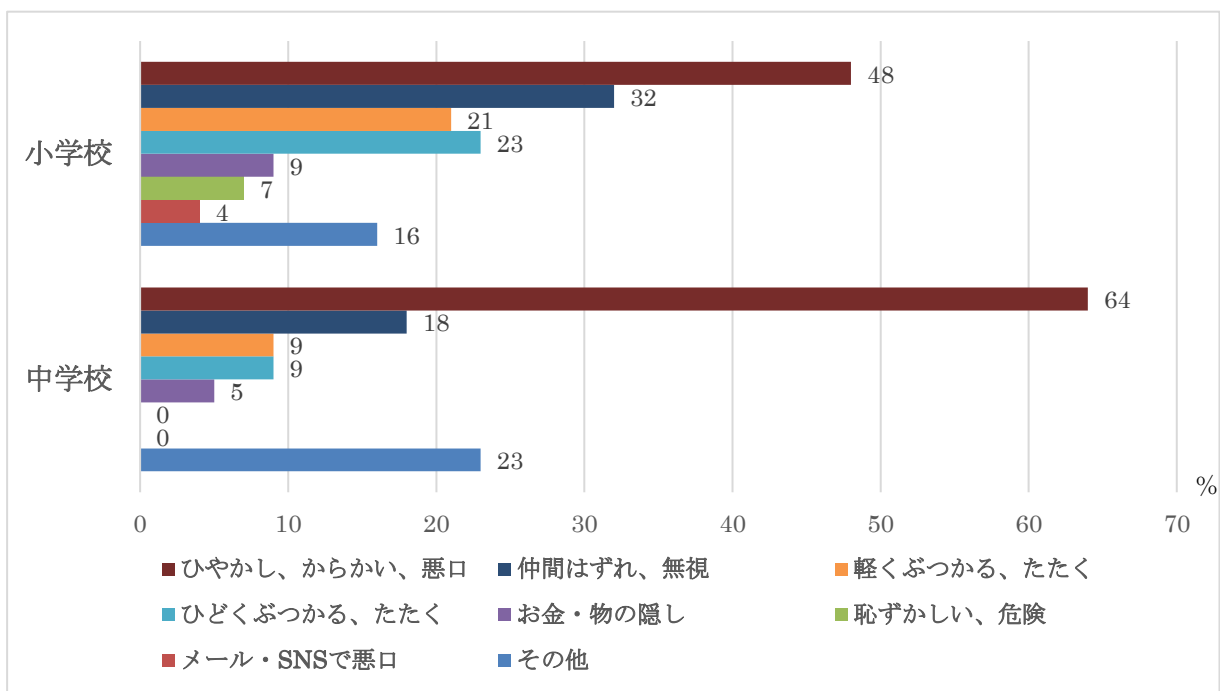
<考察> 昨年度と比較すると、長引くコロナ禍の影響もあるのか特に小学校では大幅に増加しており、今後は継続した気配り・目配りが強く望まれる。一方、家庭や関係機関と連携した学校の指導や対応で、重大事態には至っていない状況にある。

2 1で「ある」の場合、「どんなことをされたか。」

（回答児童：244名、回答生徒：22名）

<小学校> <中学校>

ア、冷やかしからかい、悪口を言われる	48% (116人)	64% (14人)
イ、仲間はずれ、無視される	32% (78人)	18% (4人)
ウ、軽くぶつかる、遊んだふりで叩かれる	21% (52人)	9% (2人)
エ、ひどくぶつかる、叩かれる、蹴られる	23% (57人)	9% (2人)
オ、お金や物を隠される、いたずらされる	9% (22人)	5% (1人)
カ、恥ずかしいこと、危険なことをされる	7% (18人)	0% (0人)
キ、メールやSNS等で悪口を書かれたり仲間はずれにされる	4% (10人)	0% (0人)
ク、その他	16% (39人)	23% (5人)

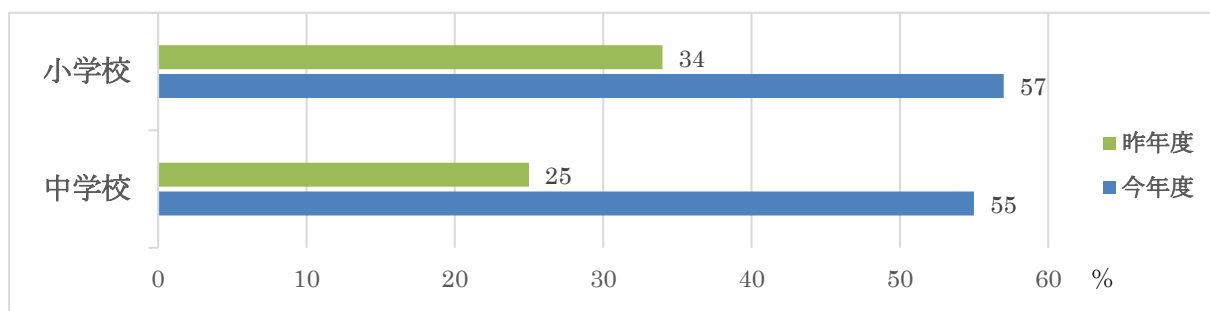


<考察> 「冷やかし、からかい、悪口」や「仲間はずれ、無視」で嫌な思いをしている子どもは例年同様依然多いが、中学校では前者の「冷やかし、からかい、悪口」が11ポイント減少し、後者の「仲間はずれ、無視」が5ポイント増加している。また、昨年度と比較すると、「軽くぶつかる・叩く・蹴る」「ひどくぶつかる・叩く・蹴る」「お金や物を隠す、いたずらする」が小学校で3～5ポイント増加しているのに対し、中学校は8～16ポイントと大きく減少している。また、「メールやSNSでの悪口・仲間はずれ」は中学校で皆無なのに対し、小学校では微増傾向にある。

3 1で「ある」の場合、「今も嫌な思いをしている。」 (回答児童：244名、回答生徒：22名)

小学校・・・今年度139件(57%未解決) 昨年度40件(34%未解決)

中学校・・・今年度12件(55%未解決) 昨年度2件(25%未解決)

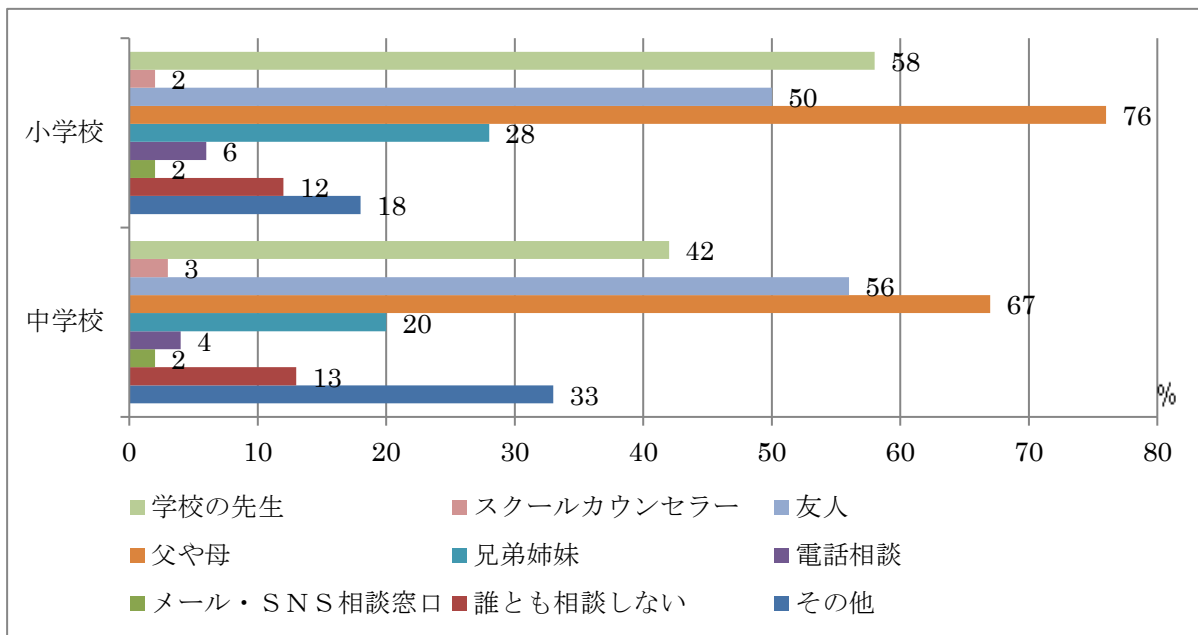


<考察> 昨年度と比較すると、小学校・中学校ともに「今も嫌な思いをしている子ども」は大幅に増加している。6割弱の子ども達は依然問題が解消されていないため、子どもの声に耳を傾け、早急に対応する必要がある。

4 「嫌な思いをした時には、誰に相談するか。」 (回答児童：1117名、回答生徒：643名)

<小学校> <中学校>

ア、学校の先生	58%	42%
イ、スクールカウンセラー	2%	3%
ウ、友人	50%	56%
エ、父や母	76%	67%
オ、兄弟姉妹	28%	20%
カ、電話相談	6%	4%
キ、メールやSNSの相談窓口	2%	2%
ク、誰とも相談しない	12%	13%
ケ、その他	18%	33%

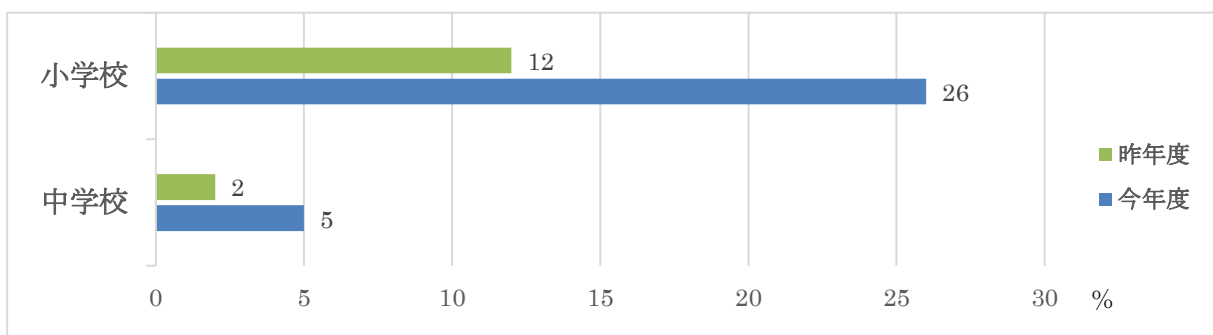


＜考察＞ 相談相手は小学校が「父母→先生→友人」、中学校が「父母→友人→先生」の順となっている。小学校の割合・順位は昨年度と大差ないが、中学校においては僅差であった「父母」と「友人」が逆転しており、過去最高の11ポイントの開きになっている。また、「誰にも相談しない」子どもが小学校では12%（昨年度10%、一昨年度7%）、中学校では13%（昨年同様）と小学校で増加傾向が見られる。「その他」では相談相手として概ね祖父母をあげているが、昨年度に比べると小学校で12ポイント、中学校で30ポイント（特に1年生）も増加している。

5 「友達が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがある。」

（回答児童：1117名、回答生徒：643名）

小学校今年度 294 件（26%） 昨年度 132 件（12%）
 中学校今年度 33 件（5%） 昨年度 15 件（2%）

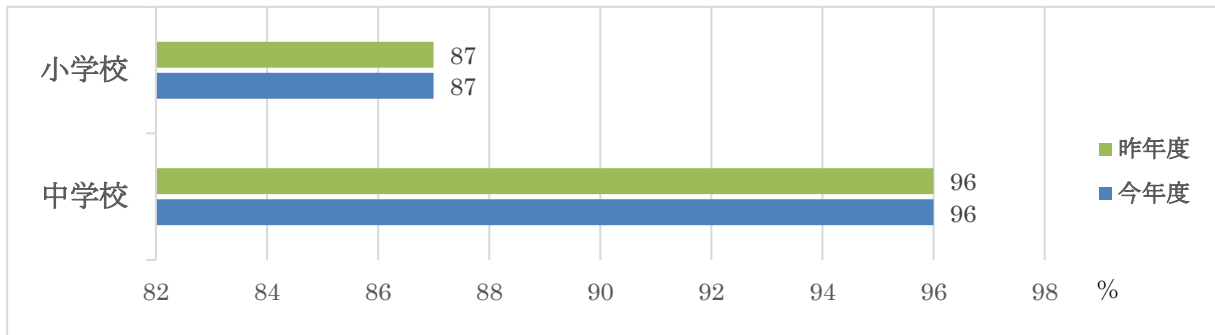


＜考察＞ 「嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりした」割合は、小学校・中学校共に設問1とほぼ同じか、上回る数字となっている。従って、設問1の数値は概ね現状を把握していると思われる。

6 「子ども相談支援センター電話紹介カードを知っているか。」

（回答児童：1117名、回答生徒：643名）

小学校 知っている . . .今年度 981 人（87%） 昨年度 976 人（87%）
 中学校 知っている . . .今年度 616 人（96%） 昨年度 629 人（96%）

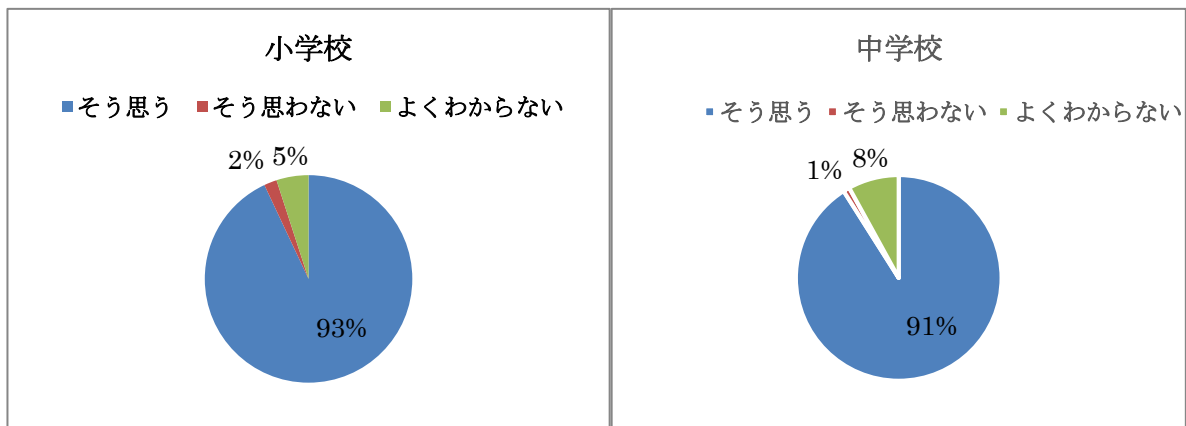


<考察> 昨年度と比較しても、「子ども相談支援センター電話紹介カード」は児童生徒に十分周知されてきている。小学校で「知らない」と答えた13%の児童のうち、昨年同様73%は2・3・4年生（1年生は無回答）が占めている。

7 「いじめはどんなことがあっても許されないことだと思うか。」

(回答児童：1117名、回答生徒：643名)

	<小学校>	<中学校>
ア、そう思う	93%	91%
イ、そう思わない	2%	1%
ウ、よくわからない	5%	8%



<考察> 昨年度と比較すると、小学校・中学校はともに「そう思う」が2%増加し、「そう思わない」が1~2%減少しており、ほとんどの子どもは正常な認識を有していると思われる。